

2025/11/13
「図書館でのよりよい医療情報提供のあり方を考える2025」
第2部「結ぶ」事業 実施報告会

2024年度 国立がん研究センターがん情報ギフト「結ぶ」事業 「家族ががんになったとき、子どもは？」

社会医療法人厚生会 中部国際医療センター 患者支援センター
宇津山 志穂



■はじめに 社会医療法人厚生会 中部国際医療センター

岐阜県美濃加茂市
2022/01 新築移転開院
がん診療連携拠点病院 地域医療支援病院
病床数 502床
診療科 35科



近隣の図書館

美濃加茂市・可児市など2市8町村
人口約20万人の地域に14館

■目的

- がんは身近な病気として関心を持っていただく
- 家族ががんになった時の子どもの反応や
子どもへの告知について情報発信する
- がん診療連携拠点病院が地域に出かけて開催することで、
病院やがん相談支援センターの広報する



■実施機関

■実施機関
中部国際医療センターがん相談支援センター



■共同実施機関
美濃加茂市東図書館
美濃加茂市中央図書館



■協力機関
NPO法人Hope Tree
美濃加茂市健康こども部健康課
可児市立図書館



■ 実施内容

- 共同実施機関と協力機関、
計3カ所の図書館に資料や書籍の展示
- 共同実施機関にて講演会を開催



■ 実施時期

- 2025/03 AYA WEEKの期間

■ 講演会の企画

- がんになった親とその子どもの支援団体
NPO法人Hope Treeから
講師派遣や資料提供の協力を得る
- 同日に岐阜市内で開催された
AYA WEEK 2025 GIFUの会場にライブ配信
先方の会場の参加者も視聴可能



■ 広報

- 実施機関・共同実施機関、
保健センター等の公的機関にチラシを設置
- 近隣の医療・福祉機関に郵送
- 協力機関を通じて
教育委員会・民生委員・社会福祉協議会へ
チラシを配布
- 美濃加茂市の広報紙の
イベント案内ページに掲載



展示イベント



共同実施機関：美濃加茂市東図書館

展示イベント



共同実施機関：美濃加茂市中央図書館

展示イベント



協力機関：可児市立図書館

講演会

参加者 34人 ライブ配信会場にて5人+a

居住地 美濃加茂市16人、可児市7人、加茂郡3人など

立場

一般住民	26人
医療従事者	3人
行政関係者	2人
がんピアサポーター	1人
その他	2人



講演会

2025/03/08(土)

講師：NPO法人Hope Tree代表理事 大沢かおりさん

講演内容

- 子どもの年代別の反応と
それに対する対応
- 子どもに告知するときのポイント
伝える意味
- 日常の中で子どもを支える方法



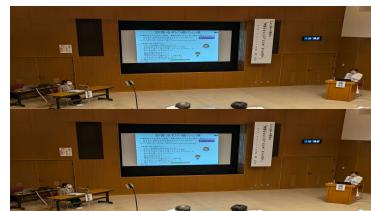
講演会

アンケート回答者 32人

Q : 本日知った内容について、誰かに伝えたいと思いますか？
とても伝えたい 6人 ／ 伝えたい 17人

Q : 会場の図書館にがん情報ギフトが置かれていることを
知っていましたか？ 知らなかつたが、今後利用してみたい 25人

「共感できるところがあった」
「心配してしまうという意味で
(子どもに)伝えていなかつたが...」
「しっかり話す時間を作ろうと思う」
「これから自分の時の参考にしたい」



■ 次年度へ継続

■ AYA WEEK期間に合わせた関連展示

2023年度まで図書館1カ所
⇒今回の展示をきっかけに2025年度は図書館3カ所

■ がん相談支援センターの広報

協力機関である美濃加茂市健康課がチラシの設置や配布を検討

■ 購入書籍や講演資料の活用

中部国際医療センター患者図書館に購入書籍を所蔵
子どもをもつがん患者に講演会資料を提供

がんについて、正確な情報の提供や地域との連携を継続